

理学療法科

科長 塩田 直隆

人員体制

2020年は理学療法士34名体制でスタートし、4月より各1名の異動と退職があり、1名の入職の33名体制で実施。入院では一般・地域包括ケア病棟には10名、回復期リハ病棟には19名、外来には4名を配置しリハサービスを提供した。

実績

365日同じ訓練量を提供できる体制に努めてきたが、新型コロナウイルスの影響により入院、外来ともに患者数が減少した。また、実施単位数も減少するとともに月毎にばらつきを認めた(図1)。内訳では一般・回復期病棟では患者一人当たりの介入単位は平均3.2単位のサービスを提供(図2)。地域包括ケア病棟では患者一人当たりの介入は平均2.4単位のサービス提供であった(図3)。外来については外来専属スタッフを4名配置し1ヶ月平均660名の患者さんにリハビリを提供することができた(図4)。結果、昨年と比べ入院は5388単位、外来は2482単位の減少となった。入院のリハビリ対象者の年齢別では65歳以上が78.4%を占め、そのうちの75歳が65.8%であり、90歳以上は8.8%を占めており高齢者の入院が多くなっている(図5)。入院患者理学療法施行による診断内訳は図6に示す通りである。

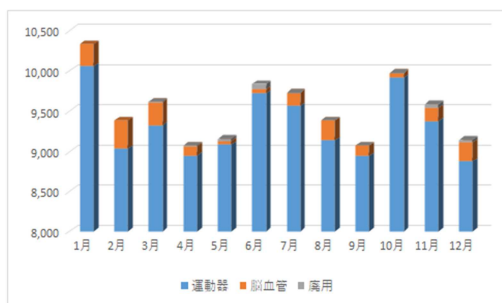


図1 リハビリ月別実施単位数

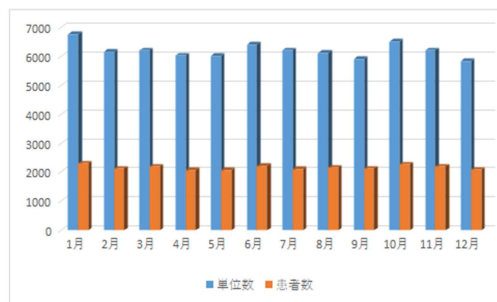


図2 一般・回復期病棟実施単位数と延患者数

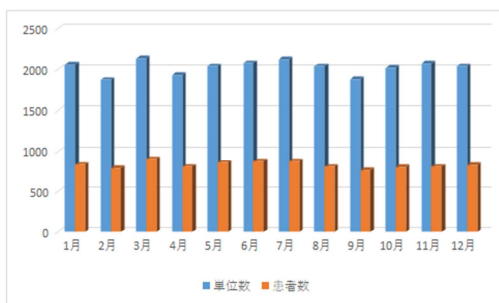


図3 地域包括ケア病棟実施単位数と延患者数

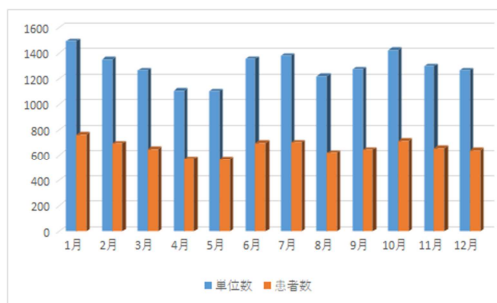


図4 外来リハ実施単位数と延患者数

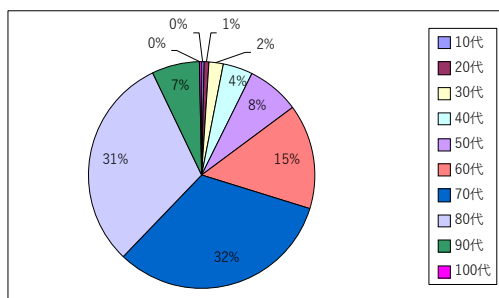


図5 年齢別内訳

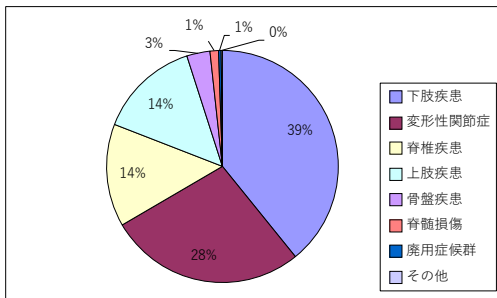


図6 理学療法診断内訳

2021 年度の方針

2021 年度は新型コロナウイルスに対する感染対策を継続し、安心安全に医療が行えるようにしていく。また、業務整理を行いながら効率的かつ安定したリハビリテーションサービスの提供体制を継続していく。教育面では、個人のキャリアを振り返り部署として必要な知識や技術を共有しキャリア開発に向けた取り組みを行っていく。また、内部での人事異動を行い、幅広い疾患・障害への対応を経験できるように進めていきスタッフの質の向上に努めていきたい。